

株式会社パルコ 店舗総合売上高報告(2006年4月)

『店舗総合売上高』とは店舗の総合的な販売力を表示するため、以下の各売上高を合計したものです。

テナント売上高 パルコ劇場等の売上高 固定賃料契約テナントの売上高

決算においては劇場等の売上高は「その他の売上高」に、固定賃料契約テナントの場合は売上高は計上せず
その賃料のみが「営業収入」に計上されております。

店舗別状況

(前年比%)

	当月
札幌	89.1
宇都宮	93.6
新所沢	103.2
池袋	102.4
渋谷	104.3
ひばりが丘	101.6
吉祥寺	101.3
調布	98.9
津田沼	105.7
千葉	92.3
厚木	102.9
松本	113.8
岐阜	62.1
名古屋	103.7
大津	96.3
心齋橋	108.5
広島	104.6
大分	97.6
熊本	93.0
合計	100.7

アイテム別状況

(前年比%)

	当月
衣料品	99.0
身の回り	103.3
雑貨	103.0
飲食	99.8
食品	100.7
サービス・催事計	100.6
合計	100.7

当月の営業概況

[全体]

- ・4月は上旬の衣料品の動きが鈍かったものの、中旬以降は初夏物衣料が活性化し回復基調。ゴールデンウィークについては、各店舗が来店モチベーションを拡大するための企画を強化・実施。結果として上旬のマイナスを月間トータルでヘッジした。
- ・アイテム別では、衣料品は上旬の苦戦が響き前年割れとなったものの、身の回り・雑貨など非衣料品アイテムが健闘した。身の回り品は、かご使いのバッグやアクセサリが好調なほか、婦人靴も麻、リボンなどトレンドを入れたウェッジソールサンダルが動き出し、またフラットローヒールのパンプスも人気。
- ・雑貨は、3月に引き続き家電の新店効果と家具・家庭雑貨が「新生活キャンペーン」のヒットで好推移した。

売上前年比推移(全店計)

(%)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全店計	104.8	100.7	-	-	-	-
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全店計	-	-	-	-	-	-